



令和8年度伊万里市立山代中学校グランドデザイン

《校訓》 「自主」「創造」「気力」

《学校教育目標》

心豊かでたくましく、志をもつ生徒の育成

<今年度の重点実践>

- 1 生徒一人一人が「分かった」と実感できる授業の工夫改善
- 2 早期発見・早期対応を徹底した校内体制づくり
- 3 教職員が互いに支え合い、一人で抱えこまず、余裕をもって生徒に向き合える働き方

めざす学校像

- 生徒、保護者・地域、教職員のウェルビーイングが高まる学校
- ・生徒が喜んで登校し、学ぶ楽しさを味わい、明日も元気に登校したいと思える、生徒にとって行きたい学校
- ・保護者や地域の方が、安心して生徒を通わせたいと思える学校
- ・職員が、生きがいや誇りを感じて仕事に取り組める働きがいのある学校

めざす生徒像

- 自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、判断し、他者と協働して課題解決に向かって努力する生徒
- 思いやりと感謝の心を持ち、自他の生命や人権を大切にしようとする生徒
- 夢や目標の達成に向けいろいろなことにチャレンジし、粘り強くやり抜く生徒
- 自分の良さを認め、人の役に立つことを積極的に行う生徒
- 心身ともに健康で、様々なトラブルを乗り越えて、豊かで適切な人間関係を構築できる生徒

めざす教師像

- 自己研鑽に励み、教師としての使命感と情熱をもち、常に学び続け、自らの資質・能力を高める教師
- 豊かな人間性と愛情をもち、生徒との共感的人間関係を構築しながら、共に学び共に成長し続ける教師
- 確かな指導力・授業力を身に付け、生徒・保護者・地域から信頼される教師
- 同僚性を重視し、互いの課題を共有し、解決に向けて支え合い、信頼し合い、協働して取り組む教師
- *合言葉は「一人で抱え込まず、すぐ相談！」**

<今年度の重点目標> 自己肯定感・自己有用感の醸成「褒めて、認めて、伸ばす」

確かな学力の育成	豊かな心の育成	健やかな体の育成	教育相談・生徒指導の充実
<ul style="list-style-type: none"> ○「分かった」「できた」という成功体験を積み重ねる授業実践 ○校内研究の充実 ○ICTを効果的に活用した授業実践による、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善 ○「家庭学習シート、手引き」の活用等による家庭学習の工夫・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分は大切な存在だ」と感じられる生徒支援 ○道徳教育、人権・同和教育の充実による、自他の生命や人権を尊重する態度の育成 ○「心を育む集会」「いのちと生き方を考える週間」等による心を育む教育の充実 ○職場体験活動やボランティア活動等、多様な体験活動の充実 ○キャリア教育の充実 ○豊かな人間関係を構築していくための人間関係調整力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○給食指導や食育の充実 ○感染症予防対策の徹底 ○「部活動ガイドライン」に沿った部活動運営による心身の健全な育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○開発的生徒指導による自己肯定感・自己有用感の醸成 ○定期的な生活アンケート調査や教育相談等による、いじめのない学校・学級づくり ○OSC・SSW等との連携・協力の強化や教育相談体制の充実 ○一人一人が主役になる生徒会活動や学級活動の充実 ○特別支援教育の視点に立った教員の専門性の向上
地域とともにある学校づくりの推進	家庭と学校との連携	小中連携の推進	働き方改革の推進
<ul style="list-style-type: none"> ○各種便りや学校HP、安心メール等、学校からの積極的な情報発信と学校評価等による取組の検証及び学校改善 ○総合的な学習の時間等における地域人材の積極的な活用 ○学校・家庭・地域の役割分担と更なる連携・協力によるコミュニティスクールの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・学校間の相談体制の確立 ○「テレビ消し、早寝早起き、朝ごはん」運動の展開と、家読の推進等による食生活や生活リズムの確立 ○SNSの正しい利用の仕方や使用時間の削減等、情報モラル教育の推進 ○PTAとの連携による「山代っ子の約束」の周知・徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中連携による教育相談体制の充実と「個別的教育支援計画」等の作成 ○中1ギャップの解消と学力向上に向けた共通実践 ○授業や集会時における立腰教育の共通実践 ○相互授業参観等の授業交流会の充実 ○小中連携による人間関係調整力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○全職員による、毎週水曜日の定時退勤日の徹底 ○生徒の完全下校1時間をめどに退勤するなど、タイムマネジメントを意識した働き方の推進 ○諸会議の内容精選と時間短縮、ペーパーレス化、先を見通した効率の良い働き方の推進 ○毎月1日以上の「計画年休」取得の推進 ○積極的なAI活用によるテストワークシート、指導案等の作成（※個人情報や教育的配慮に注意）